



2013.6.7  
第151号

発行

村議会 支会  
町議員 支会  
市協議 津支  
県委協 麻沼  
島育絡 北耶両  
福教連

編集

福島県教育庁  
会津教育事務所

編集協力

小・中学校長会

# 震災と福島への教育



会津教育事務所

所長 梅田善幸

震災と福島への教育についてあらためて考えてみたい。震災と原発事故で考えたことは、自然エネルギーの大きさからすれば、人間は本当に小さいものであり、人間は自然の前に謙虚にひれ伏すしかない存在ではないかということである。また、原発については、社会の発展には貢献したが、そのリスクについて甘く見ていたのではないかという反省である。震災後二年以上もたつ中、原発事故が未だ収束しと言えない状況で、県内や県外に避難し、新たな学校で頑張っ

ている子どもたち、本校舎に戻れず、未だ仮設校舎や間借りした校舎で不自由な学校生活を送っている子どもたち、そのような子どもたちのために我々は何ができるか、何をしなければならぬかを考える必要がある。「ふくしまの復興・再生に向けた生き抜く力をはぐくむ教育の推進」のため、道徳教育の推進や放射線教育の推進、少人数教育の推進などが図られている。そのような中、この震災や原発事故を経験したことによって、子どもたちが成長した面もある。そして、

感受性豊かな子どもたちが、より一層人の痛みや悲しみに敏感で、思いやりの心を持った人間に成長できると信じる。我々は、福島の子どもの「生きる力」、「故郷を思う気持ち」を信じ、温かく見守りながら、支援し続けていくことが重要である。福島の子どもの前途を信じ、多くの皆さんとともに子どもたちを支えていきたいと考える。ここ会津の子どもたちにとっても、地域が受けた風評被害の大きさや避難してきた多くの人々の状況を見て思うところもあつたかと思う。会津の子どもたちには、会津に生きる者として、地域に誇りを持ち、福島への復興の推進力として、勉強やスポーツ、文化活動などで力を発揮してほしい。そして、我々大人には子どもたちを支える基盤をつくる責務がある。

## 平成二十五年 管理関係 重点事項

一 教育委員会・学校との連携を一層重視した人事管理の適正化

◎学校組織の充実・活性化による各校の教育活動の充実

二 学校事故・不祥事等の未然防止

◎教職員一人一人の危機管理意識の高まりによる厳正な服務・勤務体制の確立

- ◎震災後の復興、特色ある学校づくりにつながる教職員組織の充実や強化を図る人事管理及び人事事務の適正化
- ◎学力向上等での確実な成果を上げる少人数教育を推進するための人事配置を生かした取組の工夫への支援
- ◎教職員の意欲や資質、指導力の一層の向上をめざした勤務の適正化と教職員目標管理制度の効果的な実施への支援
- ◎各校の学校経営等を支援する所長（管理）訪問や各種会議の実施

- ◎各校の取組への支援
    - 教職員の使命感や倫理観の高揚につながる研修等
    - 服務倫理委員会の持ち方や通知の活用などの具体策の工夫
    - 全員参加による防火診断の確実な実施
    - 日常の学校施設・設備等の安全管理の徹底
- ※学校事故や不祥事による学校の教育活動へのダメージは計り知れません。今年度の目標は不祥事の根絶です。  
※方が一発生した場合は、素早く適切な対応を行ってください。

# 社会教育関係重点事項

～学校、家庭、地域が一体となった教育の実現～



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

## 【施策1】子どもたちの豊かな心をはぐくみます

### (1) 『豊かな心をはぐくむ子ども読書活動推進事業』

- ① 子ども読書推進計画策定
- ② 読書活動推進研修講座
- ③ 県立図書館物流ネットワークの活用
- ④ 研修会情報

ア 日時 平成25年10月18・19・25日

イ 会場 ユースピアゆがわ

ウ 主な内容(予定)

☆講演 「子どもと読書について」

★講師 福島大学名誉教授 高野保夫 氏

○演習 「読み聞かせの技術から子どもと本を結ぶ」

●講師 JPIC読書アドバイザー 児玉ひろ美 氏

### (2) 『ふくしまっ子体験活動応援補助事業』(団体が日帰り又は宿泊を伴う自然体験活動等を実施する場合、宿泊費と交通費・体験活動費を補助)

※ 詳細については会津教育事務所ホームページを参照してください。

## 【施策9】地域全体で子どもたちを教え育てる取り組みを支援します

### (1) 『学びを通じた被災地の

地域コミュニティ再生支援事業』

- ① 放課後支援事業(会津若松市、喜多方市、西会津町、会津坂下町、会津美里町、柳津町、金山町、三島町、湯川村)
- ② 学校支援事業(北塩原村、西会津町、三島町)

- ③ 地域支援推進事業(会津若松市、猪苗代町、喜多方市、西会津町、会津坂下町、三島町、金山町)

## 【施策10】家庭における教育を支援します

### (1) 『子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業』

#### ① 「子どもをはぐくむ地域実践プロジェクト」

(会津地域家庭教育推進ブロック会議・セミナー)

#### ○ ブロックセミナー研修会情報

ア 日時 平成25年8月31日(土)

イ 会場 会津大学

ウ 主な内容(予定)

☆講演題

「(仮)子どもたちに与えるメディアの影響とノーメディアデーの推奨」

★講師 仙台医療センター総合成育医療センター 田澤 雄作 氏

#### ② 「地域子育てサポートチーム養成事業」

#### ○ 研修会情報

ア 全体研修 6月22日(土) 郡山市労働福祉会館

イ 地区別研修A 8月24日(土) ユースピアゆがわ

ウ 地区別研修B 9月 4日(水) ユースピアゆがわ

### (2) 『十七字のふれあい事業』

#### ① 内容

子どもと大人あるいは子ども同士のペアで、家庭生活や自然・社会体験活動などの共通体験を通して、お互いが感じた思いや願い、絆に関するエピソードなどをそれぞれ作品にする。

## 指導の重点

本年度は、県教育委員会の重点施策を受け、会津域内の実態も考慮して、次の5項目を重点事項とし、各学校を支援します。

### 1 子どもたちの豊かなこころの育成

#### ○ 指導体制の充実及び道徳の時間における多様な指導方法の工夫

- ・学校訪問における授業参観等の具体的な指導
- ・HPによる多様な指導方法のポイントや実践例の紹介

#### ○ 教育相談体制の充実による不登校ゼロに向けた組織的な取組等の推進

- ・中1ギャップによる不登校が多い学校等の取組への支援

### 2 生き抜く力を支える「確かな学力」の育成

#### ○ 学力向上グランドデザインの改善

- ・実態に応じた改善、全職員による実践・評価

#### ○ 「わかる・できる授業」の設計・実施・評価

- ・学校訪問における授業改善の具体的な指導及び継続指導の充実、あわせてHPの充実

#### ○ 学習習慣、生活習慣の確立

- ・学習習慣、生活習慣の確立に向けた、学校・家庭との連携強化

### 3 子どもたちの健やかな体の育成

#### ○ 「体力向上推進計画」に基づく授業や体育的活動の充実

- ・「体力向上推進計画」の策定・活用状況の検証

#### ○ 「食育年間指導計画」の整備改善と組織的な食育の推進

- ・「食育年間指導計画」の策定・活用状況の検証

#### ○ 組織を活用した健康教育の推進

- ・放射線教育等、教員に対する支援の充実

### 4 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進

#### ○ 地域における支援体制の整備・充実

- ・市町村教育委員会への計画的訪問及び具体的な取組の提案

#### ○ 校内支援体制の整備及び教職員の指導力向上

- ・特別支援学級等担任の指導力向上に向けた学校訪問の充実

### 5 安全・安心な学習環境の整備

#### ○ 健康・安全等に対する組織活動の充実

- ・校内や地域と連携した体制づくりへの支援

※ 「確かな学力」の育成に向けた指導資料として、HPの学力向上支援コーナー「教科の部屋」及び昨年度末に各学校に配付した『実践事例集一今、目指したい授業一』を活用ください。

※ 放射線教育については、HPの「放射線教育の部屋」に情報を掲載するとともに、今年度は2回、会津教育事務所主催の自主研修会を実施する予定です。



## ハノイ旅行から思うこと

喜多方市教育委員会教育長  
芳賀 忠夫

今私は、執務室で今年1月のハノイ旅行を思い出しながらペンを走らせている。親交深い先輩から誘いを受けハノイを訪れる機会を得たのだ。

ハノイは、第二次インドシナ戦争（ベトナム戦争）で激しい空爆を受けた街である。激戦から約50年を経た街で、次のような人々に出会わせていただいた。「ホーチミンをベトナムの父と慕い廟に長蛇の列をなす人々」「規則やルールなどによらなくても阿吽の呼吸で秩序ある生活を営む人々」「額に汗し勤勉に働く農民、工場や商店などの従業員」「向学心に燃え、自力で自分の道を切り拓くA君ら若者達」「金銭や物が豊かではないのに生き生きした表情で暮らす住宅街の人々」「外国の資本や文化等を受け入れても自国を誇る街中のスローガン」「子どもをしっかり躱けるBさん一家ととびっきりの笑顔のCちゃん、Dちゃん」「人から受けた支援等を忘れず感謝や恩を態度で表すI君、Eさん、Kさん」等々、まさしくベトナム全体を

高く押し上げるパワーをもった人々の姿であった。

さて、気持ちを日本の今に向けてみよう。社会全体が元気と活力を失い下向きの風潮が蔓延し慢性化しているようだ。その理由は「長い間のデフレによる不況、不景気にある」と言うがそれだけではない。現代の日本人が、ハノイで出会った人々のような姿を失ったり、忘れていたりすることも一因であると思うのだ。

ハノイで目の当たりにした人々の姿は、実はかつての日本人の姿でもあったのだと思う。「社会や国のために尽くした先人を敬愛する」「相手をおもんばかって礼をつくす」「目標を定め、勤勉に働き汗することを厭わない」「勉学に勤しみ自分を鍛え上げる」「精神的に充実した生活の中に真の豊かさを見いだす」「子どもの躱を怠りなくおこなって慈しむ」「地域や自国を誇る」等々、これらはごく当たり前に行われてきたことであった。こうしたことを実践できる人間の育成が求められていることは今も昔も変わらない。ハノイ旅行を振り返り、気持ちを引き締め「喜多方の教育」の充実を誓う。

### 我がまちからの情報発信

湯川村教育委員会

## 勝常念佛踊りと子どもたち

勝常念佛踊りは、会津では一般に「会津念佛踊」といわれ、空也上人（903年～972年）の頃から始まり、一遍上人（1239年～1289年）の頃に盛んになり、縁日には、会津各地の撰取講がお互い講を招待しあって踊っていたようです。

勝常念佛踊りは、伝統的信仰に基づく追善供養の意義をもっており、太鼓、鉦に拍子を合わせ、手を舞い足を踏む踊りを信仰と供養に導き、



併せて天下泰平と五穀豊穡を祈願しています。戦時中一時中断し、戦後は昭和35、36年まで行われていましたが再び中断したため、昭和58年9月、有志が「勝常念佛踊り保存会」を組織して研修と後継者育成に努め、会津唯一の大きな撰取講に成長させました。

現在、会津に残る念佛踊りは、喜多方市熊倉町小沼組、塩川町中ノ目組、湯川村勝常組だけであり、平成15年3月25日にはこれら三つが一緒に「会津大念佛撰取講」として福島県の重要無形民俗文化財に指定されました。

平成13年から勝常小学校5年生の総合的な学習の時間において、念佛踊りの歴史、伝統芸能の重要性について学習しています。このことがあって、現在、約30名の児童が念佛踊りの練習に参加するまでになり、毎年4月28日の薬師如来祭りに併せて行われる「勝常念佛踊り供養祭」には、勝常寺薬師堂前で、村内外からの多くの方が見守る中、小沼組、中ノ目組、勝常組の念佛踊りと肩を並べて子どもたちだけの太鼓や笛の演奏も奉納されています。

# 平成25年度 会津教育事務所 経営・運営ビジョン

※数値は達成状況を0～3の4段階で評価したときの目標値

基本理念 《“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなくましい人づくり》

## ■ 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

### 【子どもたちの豊かなこころの育成】

- ◎指導体制の充実及び道徳の時間における多様な指導方法の工夫  
(方策) ・ 学校訪問における授業参観等の具体的な指導  
・ H Pによる多様な指導のポータルや実践例の紹介  
(目標) ・ 道徳の授業の多様な展開 ※小中とも2.5以上
- ◎教育相談体制の充実による不登校ゼロに向けた組織的な取組等の推進  
(方策) ・ 中1ギョウブによる不登校が多い、学校等の取組への支援  
(目標) ・ 不登校児童生徒数 前年度比10%減

### 【「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進】

- ◎地域における支援体制の整備・充実  
(方策) ・ 市町村教育委員会への計画的訪問及び具体的な取組の提案
- ◎校内支援体制の整備及び教職員の指導力向上  
(方策) ・ 特別支援学級等担任の指導力向上に向けた学校訪問の充実

### 【生き抜く力を支える「確かな学力」の育成】

- ◎学力向上プログラム「学びの改善」の改善  
(方策) ・ 実態に応じた改善、全職員による実践・評価  
(目標) ・ 学力向上プログラムの改善 ※小中とも2.1以上
- ◎「わかる・できる授業」の設計・実施・評価  
(方策) ・ 学校訪問における授業改善の具体的な指導及び訪問後の継続指導の充実、あわせてH Pの充実  
(目標) ・ 「わかる・できる授業」 ※小中とも2.5以上  
・ 県学力調査の会津域内の正答率 県比100%
- ◎学習習慣、生活習慣の確立  
(方策) ・ 学習習慣、生活習慣の確立に向けた、学校・家庭との連携強化  
(目標) ・ 家庭学習の手引集の作成・活用 ※小中とも2.5以上

### 【望ましい勤労観・職業観の育成】

- ◎教育活動全体を通じたキャリア教育の推進  
(方策) ・ 研修会等への訪問指導の充実

### 【高度情報社会を主体的に生きていく力の育成】

- ◎情報活用能力の育成 (方策) ・ 校内研修会等への支援の充実

### 【子どもたちの健やかな体の育成】

- ◎「体力向上推進計画」に基づく授業や体育的活動の充実  
(方策) ・ 「体力向上推進計画」の策定・活用状況の検証  
(目標) ・ 「体力向上推進計画」の活用率100%
- ◎「食育年間指導計画」の整備改善と組織的な食育の推進  
(方策) ・ 「食育年間指導計画」の策定・活用状況の検証  
(目標) ・ 「食育年間指導計画」に基づく授業実施校100%
- ◎組織を活用した健康教育の推進  
(方策) ・ 放射線教育等、教員に対する支援の充実  
(目標) ・ 放射線に関する授業を学級実施校100%

### 【国際化の進展に対応できる人材の育成】

- ◎外国語による実践的なコミュニケーション能力の育成  
(方策) ・ 指導力向上に向けた授業参観、指導機会の大増

## <基本目標> 域内の実情に即した県教育委員会施策の推進と各市町村・各学校の教育充実のための支援 <方針> ①視野を広げ、見通しを長く、志を高く持って域内教育について考える。②成果に結びつく、意図的・計画的・組織的・継続的な支援を行う。③域内教育関係者 関係機関の連携を強化・促進する。

## 各市町村教育委員会の施策

## 各学校の経営運営ビジョン

## ■ 豊かな教育環境の形成

### 【教員の資質向上】

- ◎教員研修等の充実  
(方策) ・ 体系的な研修や少人数グループによる研究協議の充実
- ◎教職員の職務倫理の確立  
(方策) ・ 所長・管理訪問時における各校の実践の指導・助言、効果的な取組の紹介  
(目標) ・ 学校事故・教職員事故及び不祥事の絶無

### 【安全・安心な学習環境の整備】

- ◎健康・安全等に対する組織活動の充実  
(方策) ・ 校内や地域と連携した体制づくりへの支援  
(目標) ・ 学校(地域)保健委員会の複数回実施校100%  
・ 危険等発生時対応要領の自校化100%

### 【開かれた教育の推進】

- ◎学校経営能力の向上 (方策) 校長会、教頭会におけるより実践的な指導

### 【教員が子どもに向き合える環境の整備】

- ◎教員の勤務の適正化と負担軽減  
◎教職員の心身の健康保持  
(方策) ・ 超過勤務削減に向けた実践例の積極的な紹介

## ■ 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

### 【地域における教育の支援】

- ◎読書活動の推進  
(方策) ・ 「子ども読書活動推進計画」に基づく実践の充実を図るための訪問指導による指導助言  
(目標) ・ 全市町村における「子ども読書活動推進計画」の推進
- ◎地域ぐるみによる学校支援や子どもの居場所づくりの支援  
(方策) ・ コーディネーター養成研修の実施と情報提供

### 【家庭における教育の支援】

- ◎子育てに関する学習機会の充実  
(方策) ・ 「子育てアシスタント」の養成に向けた支援  
・ 各市町村教委に対する積極的な訪問支援の実践
- ◎学校と家庭の連携促進  
(方策) ・ 連甲・地域代表による協議と研修会の開催  
・ 家庭教育に関する連甲・域内での統一した取組の実践

### 【生涯学習の環境整備】

- ◎県民の学習機会の充実と学習成果を活かした社会参加の促進

### 【環境教育の推進】

- ◎低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進

### 【伝統文化の保存・継承】

- ◎文化的資源を活かした地域活性化の推進